



ある朝、一匹の子犬が
生まれました。

たくさんのお愛に包まれて、
クイールは盲導犬になりました。

クイール

崔 洋一監督作品

小林 薫 椎名 桔平

香川照之 戸田恵子 寺島しのぶ 黒谷友香・名取裕子

原作:「盲導犬クイールの一生」写真:秋元良平、文:石黒謙吾(文藝春秋刊) 製作:松竹・テレビ東京・テレビ大阪・衛星劇場・日販 配給:松竹

40. テレビ東京

www.quill.jp

40

2004年春、一匹の犬が日本中に涙と幸せを届けます。

3/13(土)全国ロードショー



クー、いっしょに歩こう—— たくさんの愛に包まれた一匹の盲導犬の感動の物語

ある朝、一匹の子犬が生まれた。おなかに鳥が羽根を広げたようなブチ模様がある子犬は、“クイール（鳥の羽根）”と名付けられる。クイールは盲導犬になるために母犬の元を離れ、パピーウォーカーと呼ばれる育ての親に預けられる。彼らのあたたかい愛情を一身に受けて、クイールは元気いっぱいにつが、別れはあつという間にやってきた。1歳の誕生日を迎えたクイールは、いよいよ訓練センターに入るのだ。のんびり屋でマイペースのクイールに、ベテランの訓練士・多和田でさえ手を焼くこともあったが、クイールは目の不自由な男性・渡辺とめぐり逢う。最初は全く息の合わない一人と一匹だったが、ハーネスから伝わってくるクイールの思いやりを感じた渡辺は、少しずつ心を開いていく。共に歩く喜びをかみしめながら、彼らの絆は日に日に深まっていった。しかし、互いにかけてがえのない存在になったとき、悲しい別れが突然にやってきた……。

原作は、実在したラブラドル・レトリバーの盲導犬クイールの生涯を、優しさに満ちたモノクロームの写真と文章で綴った、

「盲導犬クイールの一生」（文藝春秋刊）。子供から大人まで世代を超えた幅広い層に支持されてベストセラーとなり、現在70万部を突破している。さらに2003年夏にはNHKでTVドラマ化され、高視聴率を記録した。そして2004年春、クイールは映画になって私たちの元へと駆けて来る。クイールは、尽きることのない無償の愛と信頼という贈り物を、私たちにそっと差し出してくれるのだ。

渡辺を演じるのは日本を代表する名優の一人、小林薫。訓練士の多和田には演技派の椎名桔平、パピーウォーカーの仁井夫妻には香川照之と寺島しのぶ、生まれの親の水戸レンには名取裕子が扮している。監督は、キネマ旬報ベストテン作品賞、監督賞、報知映画賞、日刊スポーツ映画賞など53もの映画賞に輝いた「月はどっちに出ている」、ブルーリボン賞監督賞を始め各賞を受賞した「刑務所の中」などを手がけ、深い人物描写で定評のある日本映画界の鬼才・崔洋一。映画でしか描けないクイールの物語をスクリーンいっぱいに見せてくれる。



クイール

崔 洋一監督作品

小林 薫 椎名 桔平

香川照之 戸田恵子 寺島しのぶ 黒谷友香・名取裕子

原作：「盲導犬クイールの一生」写真：秋元良平、文：石黒謙吾（文藝春秋刊）

製作：松竹・テレビ東京・テレビ大阪・衛星劇場・日販 配給：松竹

40th テレビ東京

www.quill.jp

2004年3月13日（土）〈春休み〉ロードショー